

米林宏昌監督がふるさと野々市へ



- A. 市役所では一気に注目的に！
 B. 椿館でメアリに扮したアナウンサーとトーク
 C. 舞台あいさつでの米林監督・西村プロデューサー
 D. 市役所エントランスでのお出迎え
 E. 市長との対談 F. 「夢は大きく、世界平和」という米林監督



夜 塚にはイオンシネマ御経塚にて野々市市特別試写会を開催。約200人が来場しました。舞台あいさつでは米林監督と西村義明プロデューサーが登場し、映画の製作秘話やスタジオ名の由来などを披露。米林監督は「力を込めて描いた作品です。子どもはワクワク・ドキドキできて、大人は何かの力を得られるような映画になつたと思います。皆さんにお届けできるのがうれしいです。ぜひ楽しんでください」と締めくくりました。

してね」などと話していました。さらに一行は、「愛と和花のギャラリー」のいち椿館へ移動。今年3月に開催した全国椿サミット野々市大会を記念して、当時米林監督が市へ寄贈したイラストを見ながら、「この白いツバキは『野々市』という品種なんですよ」と語りました。

その後、市役所エントランスにて、米林監督の同級生により結成された「まろ応援隊」や、学生時代の恩師らと再会。懐かしい顔ぶれに監督は思わず笑みをこぼし、「お互いに年を取つたね。これからも応援

映画への期待を寄せました。栗市長は「今回は前作の『思い出のマーニー』とはまた違った作品になつていると聞き、楽しみにしています」と映画への期待を寄せました。

野々市市出身の世界的アーティストである米林

と魔女の花』の公開に合わせて6月29日(木)、ふるさと野々市市を訪れました。市役所では職員や多数の来場者が米林監督を大きな拍手で歓迎。市長への表敬訪問で米林監督は「野々市の人々はいつも温かく迎えてくれて、大変うれしく思っています」と話し、栗市長は「今日は前作の『思い出のマーニー』とはまた違った作品になつていると聞き、楽しみにしています」と映画への期待を寄せました。



監督の作品は全部見ています。今作も素直に面白く、舞台あいさつでは裏話も聞けてうれしかったです。

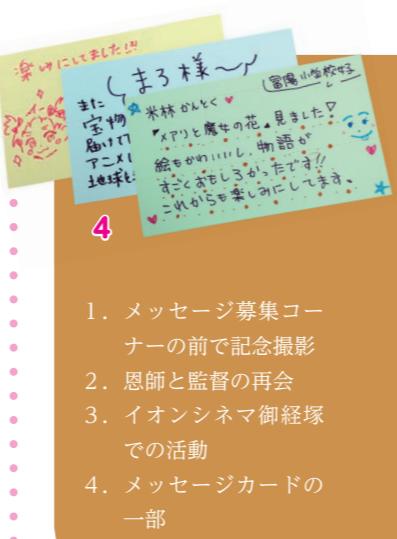


怖いシーンもあったけど楽しかったです。監督とプロデューサーの仲が良さそうでした。



メリが魔法を使えるようになるところが面白かったです。

試写会来場者の声



- メッセージ募集コーナーの前で記念撮影
- 恩師と監督の再会
- イオンシネマ御経塚での活動
- メッセージカードの一部



まろ応援隊とは、米林宏昌監督を応援すべく結成された市民団体です。メンバーは主に監督の幼少時代からの同級生・恩師約20人。映画『メリと魔女の花』公開に合わせて、イオン御経塚店や北国街道野々市の市会場にて、米林監督への応援メッセージを集めました。集められたメッセージカードはアルバムになり、監督のもとへ届けられました。

「まろ応援隊」結成！